

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 20.10.6 第 170 回国会第 3 号

10 月 6 日、第 3 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計補正予算（第 1 号）  
平成 20 年度特別会計補正予算（特第 1 号）  
平成 20 年度政府関係機関補正予算（機第 1 号）
- ・麻生内閣総理大臣、鳩山総務大臣、中川財務大臣、塩谷文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、石破農林水産大臣、二階経済産業大臣、金子国土交通大臣、斉藤環境大臣、与謝野国務大臣（経済財政政策担当大臣）、甘利国務大臣（行政改革担当大臣）、野田国務大臣（消費者行政推進担当大臣）、小淵国務大臣（少子化対策担当大臣）、竹島公正取引委員会委員長及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 保 利 耕 輔君（自民）

- ・麻生内閣総理大臣は、所信表明演説において、日本経済の立て直しに関して「当面は景気対策、中期的に財政再建、中長期的には、改革による経済成長」と述べているが、その意味するところは何か。
- ・中小企業の資金繰りが悪化している状況にあるが、金融庁から金融機関に対して何らかの指導・通達を行う可能性はあるのか。
- ・麻生内閣総理大臣は、これからの将来の日本の教育の方向性についてどのように考えているか。

## 園 田 博 之君（自民）

- ・民主党の掲げる政策及びその財源について、各大臣はどのように考えるか。
- ・外国為替基金特別会計及び財政投融资特別会計における剰余金は、これまでどのような形で活用されてきたのか。
- ・消費税の福祉目的税化によって、社会保障制度の持続可能性が担保され、国民生活の安心につながるものと考えられるが、麻生内閣総理大臣の見解を伺いたい。

## 葉 梨 康 弘君（自民）

- ・子どもが安心してインターネットを利用できる環境を整備すべきではないか。
- ・社会保険庁から新組織（日本年金機構）に移行できない問題職員に対して、分限免職を行う必要があるのではないか。
- ・事故米の不正流通を見抜けなかったのは、検査方法がずさんであるなど、農林水産省に責任があるのではないか。

## 山 本 拓君（自民）

- ・社会保険労務士など国家資格を持つ者を活用することでコスト削減を図り、「小さな政府」を実現するべきではないか。
- ・食料安全保障を確立するために新たな立法措置を検討するべきではないか。
- ・外国人観光客を活用した商店街活性化策のために行政の支援が必要なのではないか。

## 北 側 一 雄君（公明）

- ・年度内施行が決定している定額減税の規模は平成 10 年のものと同規模、財源は例えば財政投融资特別会計財政融資資金勘定の金利変動準備金を利用する案について、中川財務大臣はどう考えるか。
- ・先の緊急総合対策決定後に発生した欧米金融資本市場における危機的な状況を勘案した、追加的な経済対策が必要と思われるが、麻生内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・世界の食料需給構造が変化するなか農地法や相続税制等の農政改革が必要と思われるが、政府はどのように考えるか。

## 赤 羽 一 嘉君（公明）

- ・10 月に政府系金融機関が統合し日本政策金融公庫が発足したが、新公庫における中小企業金融はどのようになるのか。
- ・漁業における燃油高騰対策の適用条件を緩和して、広く利用されるようにすべきではないか。
- ・予算編成に当り、首相の特別枠を大胆に設定するなどして、従来の硬直した編成方法を改革する必要があるのではないか。

**上 田 勇君（公明）**

- ・公明党「道路財源の執行適正化に関するワーキングチーム」の提案（8月8日申入れ）を受けた後の国土交通省における対応や検討状況を説明していただきたい。
- ・在職老齢年金制度の給付水準調整が高齢者の勤労意欲の低下を招く恐れがあるため制度の見直しも検討する必要があると思われるが、舛添厚生労働大臣はどう考えるか。

**長 妻 昭君（民主）**

- ・厚生年金の標準報酬問題について、全容説明をお願いし

たい。

- ・年金特別便に標準報酬月額を記載する必要があったのではないか。また「年金通帳」を発行すべきではないか。
- ・民主党が要求する政府資料を、自民党の国会対策委員会が事前確認することはやめるべきではないか。
- ・国が、国家公務員の二回目以降の再就職先をあっせんすることは、やめるべきではないか。
- ・舛添厚生労働大臣の私案である「県民健康保険制度」について説明頂きたい。